

15 (自由提案部門)

事業名 体験！感動！若生の里

実施主体 若生まなびや館管理組合

県関係課 地域政策課地域振興室

事業の成果

事業の目的 [観光交流]

- トレッキングガイドとして、沢登りガイドの講習会を開催。
- 山野草栽培として、菜の花を棚田に播種する都市交流イベントを開催し、地域の活力を生み出す。

事業の内容

- トレッキング沢登り講習会(10月25日)を開催し、インストラクターによる現地踏査・研修会を行った。
- 山野草栽培の取り組みとして、田舎体験「菜の花の種まき」ツアー(10月29日)を開催し、復田した棚田において、広島県から参加を得て種まきを行った。
- 弥畝山から空山にかけて、トレッキング植物観察会(11月6日)を開催した。



目的の達成状況 [概ね達成できた]

- 沢登りについては、十分研修ができ、今年度150名の新規集客につながった。
- 菜の花の種まきは、冬季の積雪が多かったため、花の咲き具合が若干悪かった。そのかわり、復田した棚田において、トウモロコシ等を栽培し、都市住民に提供した。

**反省点・改善点**

- 今回の事業は、山野草・トレッキングに特化した但、都市交流は、年間色々な事業に取り組む事により、集客が図られるので、今後は都市へのイベント参加等攻めの交流が必要とされる。

協働の効果

**県との協働内容** [ 協働して実施した ]

- 事業の実施に当たって、色々なアドバイスをいただいた。(グリーンツーリズム全般について)

**県との協働効果** [ 十分効果があった ]

- 今回の事業により、若生まなびや館をご理解いただき、今秋浜田市を中心に開催される全国グリーンツーリズムネットワークしまね大会の企画にも参加させてもらい、色々な情報を得ることが出来ると思う。

**県への要望事項**

- 現在は、広島市を中心とした都市交流であるが、県内への PR 等について一緒に取り組みが出来ればと思う。

**反省点・改善点** [ 特にない ]

**市町村との協働** [ 協働しなかった ]

事業の継続

**事業成果の活用** [ 活用されている ]

- 昨年度事業により、新たに200名程度の新規集客につながった。

**事業の継続状況** [ 助成を受けずに継続実施している ]

- トレッキング(沢のぼり)については、参加者より参加料をもらって実施している。植物観察は秋に予定。

**協働による発展** [ 協働により発展できる ]

- 地域の色々な資源を活用するには、今後も県との情報交換やアドバイスをもらう機会が必要と考える。

